

活動名 : あづまGirlsフットサルフェスティバル2019
日程 : 平成31年2月23日(土)・24日(日)
会場 : あづま総合体育館体育館
参加 : ガールズクラス 6名
帯同 : 設楽コーチ(佐藤・小松・貝和コーチ)
結果 : 10チーム中 9位
報告 : 設楽コーチ

この大会は女子だけのフットサル大会として、小学生女子サッカー人口の増加(普及)や技術力向上を目的として、私が職場で県的女子サッカー委員の方と企画して数年前に立ち上げた大会です。

小松コーチが主に帯同して大会に挑んできましたが、今年度は心機一転するために小松コーチの担当から私がクラス主担当コーチとして活動し、ガールズクラスは今年度、当初6名が対象のクラスでしたが、退会者や入会者の増減はなく、この6名が一年間を通して一緒に活動してきました。

特に通常の練習会では、自分の学年での練習が主ですが、月曜日の夜の特別練習会がガールズクラスとして女子だけの唯一の練習会で、年に1回の女子の大会として今回のあづまGirlsフットサルフェスの出場が目標となって頑張ってきました。

女子サッカーですが、数年前の女子サッカーワールドカップ世界一に輝き快挙を成し遂げましたが、その後、日本中を見ると社会人の女子チームや各年代のチームは増加しております。しかし、福島県の小中学生サッカーに関しては男子の中に混じって女の子が活動していることが主であり、女子だけのチーム数は大きく増えることはなく、定期的に県トレセン(県サッカー協会で開催する県内女子を集めた練習会に男子と混じって活動している子の参加が多い)を通して女子サッカーの育成強化を図っているような厳しい現状です。

そのようなことから、女子の大会も男子に比べてとても少なく、今回のようなフェスティバルは他県のチームも大会が少ない環境から出場を希望してくるような大会となっています。

アーレガールズは女子サッカーの厳しい現状を知ることも無く、アーレだけの女子サッカー環境を確立して日々楽しく活動できていることは、外部からの圧力など何も気にすることなく自分たちだけの世界で練習を中心として活動していることは幸せであり、この大会は他の女子サッカーチームや個々の技術レベルを感じる機会としてとても刺激となり、自分たちの今の状況を感じることができる貴重な場だと思います。

そのようなことから、二日間計8試合を様々なチームと戦い、参加した子供たちは素晴らしい経験ができたと思います。

宿泊をして出場した年度もありますが、今年は他県や会津、相馬などのチームが格安の体育館宿泊施設を予約されていたことから、近隣チームは日帰りの設定となってしまう、アーレの子供たちからは泊まりたいといった声も聞こえてきました。来年の出場が決まりましたら体育館宿泊施設を予約したいと思います。安価なことから人気があるため、泊りの場合は土湯温泉旅館などとなってしまう保護者の方に経費的な負担をかけてしまうので時期がきましたら検討したいと思います。

この大会に参加したアーレのOGたちも今年も多く応援にかけつけてくれました。ガー

ルズクラスでの活動は特別練習会のみですが、OG たちが応援に多くかけつけてくれたことで「アーレの女子チーム」を感じさせてくれたファミリー的なクラブのようで、とても嬉しく思いました。また、OG を送迎していただいた保護者の方々も自分の子のように応援をしていただき感謝いたします。二日間、本当に有難うございました。

そのような幸せな応援を受け、参加した6名は力を合わせ戦いましたが、試合結果は厳しいものでした。しかし、それぞれに今の技術や能力を発揮してくれたので、この日まで一緒に頑張ってきたことの充実感を感じることができ、また来年度もこのメンバーで女子クラスとして継続した活動をしていきたいと思っております。

6年生の集ちゃんはひとりで後輩たちを一年間引っ張ってきてくれました。試合でもハットトリックをする場面も見られ、大差で負けている状況でも果敢にドリブルで仕掛けてくれました。中学生ではサッカーと離れてしまうとのことなので、このプレーしてきた姿をもう見るができなくなると思うと最後の試合は感慨深い気持ちになりました。しかし、この経験を中学校でも活かして素晴らしい大人へと成長してほしいと思います。

五年生のかりなちゃん、まなかちゃんは、チームの軸として攻めや守りを縦横無尽に動き回り、頼もしくプレーしてくれたので来年の成長が楽しみです。

また、三年生のはなみちゃん、にじかちゃんは昨年度の大会では雰囲気慣れることが精いっぱいでしたが、今年は自分でやりたいポジションを希望して、そのポジションを責任もって頑張ってくれました。そして、チーム最年少のはるかちゃんは、まだ何だかわからないサッカーを嫌がることなく試合に出たいとアピールしてくれました。しかし、ポジションもまだ理解できない年代で試合メンバーとしてはまだまだの状況から、少ない時間の出場でしたがお姉さんたちに負けずに気持ちだけでプレーしている姿は嬉しく思いました。サプライズで桑折町に昨年引っ越して退会したみゆうちゃんも来てくれて、昔の仲間と変わらない様子で仲良く二日間を過ごすことができました。お互いに良い機会ができたと思います。

担当以外のコーチはあまり応援にかけつけることも無いですが、女子だけに保護者である佐藤コーチをはじめ、昨年度まで担当コーチであった小松コーチ、ガールズクラスを特に気に留めている貝和コーチなどが応援に来てくれました。大変嬉しいことです。

他チームでしっかりとプレーしていたチームは普段から男の子と一緒に活動している子たちで、やはり男の子との厳しい練習をこなしていることから、技術が高くしっかりと相手に当たり、ボールを運び、強いシュートが打っていました。

アーレガールズとしても、ガールズクラスの特別練習以外の男の子との練習会に参加することで、自分の技術レベルを上げることができるので、来年度はガールズ大会以外の通常大会や普段の練習会にも目を向けていただき積極的に参加して欲しいと思います。

年に1回しかないこの貴重な大会ですが、あっという間に二日間が終わりました。応援していただいた保護者の方やOGの保護者、OGに感謝し、また大会に出場できた喜びと他チームと交流をさせていただいたことに感謝いたします。

来年はガールズ5人での活動になりますが、最低でも5人がいないと出場できないため、是非継続してアーレを続けてほしいと思います。また、友達を誘って仲間が増えることを期待したいと思います。

コーチ：設楽





